

技術力で!

ひとびとの
当たり前前の
幸せを守る

後を絶たないサイバー犯罪・サイバー攻撃。
厳しさを増す国際テロ情勢。
こんな混沌とした時代だからこそ、
国民が警察に寄せる期待はこれまで以上に大きくなっています。

技術的な知識・知見を、国民の安全・安心のため、社会秩序の維持のため、
遺憾なく発揮できるフィールドが警察庁にはあります。

深い洞察力や論理的思考、組織を牽引していく統率力、不正を許さぬ正義感、
そして、豊かな人間性を備えた「あなた」が、
警察庁の門をたたくことを期待しています。

理系 × 警察 × 国家公務員 警察庁技術職員



待遇

初任給*1

高卒者試験採用 **200,300 円以上**

選考採用 **232,000 円以上**
(無線従事者採用 / 情報処理技術者採用)

想定年収

4,310,000 円 ~ (入庁 2 年目、埼玉県勤務)

*ボーナス含む
*埼玉県さいたま市における地域手当 (2026 年度支給割合 13%)
*残業代 (超過勤務手当) は月 5 時間分
*住居手当は月 28,000 円で算定

手当等・勤務時間

■昇給 (原則年 1 回) ■賞与 (年 2 回 / 6 月・12 月 / 約 4.6 ヶ月分)
■扶養手当 ■通勤手当 ■住居手当 ■超過勤務手当
■地域手当 (0% ~ 20%) ■勤務時間 7 時間 45 分 / 日

休暇等

■年次休暇 20 日*2 ■20 日まで翌年に繰越し可能 (最大 40 日まで)
■週休 2 日制 (土・日) ■祝日 ■年間休日 125 日以上
■年末年始休暇 (12 月 29 日 ~ 1 月 3 日) ■病気休暇 ■介護休暇等
■特別休暇 (夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等)

*1...高卒後に職務経歴なしで採用された場合の目安であり、職務経歴を踏まえた
給与が設定されます。
*2...初年度は 15 日

採用機関と勤務先

 北海道警察情報通信部 【勤務地】北海道 (札幌市、函館市、旭川市、釧路市、北見市) 【お問合せ先】 ☎ 011-251-0110 (内線 6032)	 東北管区警察局 情報通信部 【勤務地】青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県 【お問合せ先】 ☎ 022-221-7181 (内線 6032)	 東京都警察情報通信部 【勤務地】東京都 (千代田区、立川市) 【お問合せ先】 ☎ 03-3581-4321 (内線 60311)
 関東管区警察局 情報通信部 【勤務地】茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県 【お問合せ先】 ☎ 048-600-6000 (内線 6032) (採用専用ダイヤル) : 048-840-3140	 中部管区警察局 情報通信部 【勤務地】富山県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県、三重県 【お問合せ先】 ☎ 052-951-6000 (内線 6032)	 近畿管区警察局 情報通信部 【勤務地】滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県 【お問合せ先】 ☎ 06-6944-1234 (内線 6032)
 中国四国管区警察局 情報通信部 【勤務地】鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県 【お問合せ先】 ☎ 082-228-6411 (内線 6032)	 四国警察支局 情報通信部 【勤務地】徳島県、香川県、愛媛県、高知県 【お問合せ先】 ☎ 087-821-3111 (内線 6032)	 九州管区警察局 情報通信部 【勤務地】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県 【お問合せ先】 ☎ 092-622-5000 (内線 6032)

採用総合窓口

警察庁長官官房人事課 採用担当

住 所 : 〒100-8974 東京都千代田区霞が関二丁目 1 番 2 号
TEL : 03-3581-0141 (代表) / 内線 2698 E-mail : ippansyoku-saiyo@npa.go.jp

警察庁採用情報サイト

警察庁 採用情報サイト

X

YouTube (一般職)



業務説明会のご案内

警察庁及び各地方機関において、業務説明会、職員訪問を随時実施しています。職場の雰囲気や実際に勤務する職員からの生の声を聞くこともできますので、是非お気軽にご参加ください。採用イベントは警察庁ホームページや各地方機関のホームページをご確認ください。マイページにご登録いただくと、採用イベントの予約がワンクリックで完了します。

説明会エントリーはこちらから!

マイページ登録



警察庁



国家公務員採用一般職試験

(大卒程度) 全区分 / (高卒者) 技術・農業土木・林業

無線従事者試験

情報処理技術者試験

警察組織のプロフェッショナル集団 警察庁技術職員とは？

国民1人1人の安全・安心から、国の危機管理まで、技術の力で治安を守る。

科学技術の発展、社会のデジタル化の急速な進展を背景に、厳しい犯罪情勢の中、警察はその使命を果たすため、

時代の変化に的確に対応しなければなりません。

こうした時代の変化に対応すべく、警察活動を技術力で高度化し、第一線の警察活動を支える「技術のプロフェッショナル集団」。

それが、警察庁技術職員です。

どんな業務なの？

警察通信

全国をつなぐ警察ネットワークシステムである「警察基幹通信網」、110番を受理し警察官に指示を与える「通信指令システム」、警察官同士の連絡手段である「警察無線」、現場の状況を正確に把握できる「映像通信システム」など警察に必要なシステムを整備、運用維持していくことで、24時間365日の警察活動を支えています。



どんな業務なの？

サイバー・情報技術解析

捜査現場で押収したスマートフォンなどのデジタル機器や犯罪に利用された不正プログラムの解析を行う「犯罪捜査への技術的支援」、サイバー攻撃の予兆や実態を把握して対策を講じる「サイバー攻撃対策」といった取組により、サイバー空間の脅威に立ち向かい、デジタル社会の安全・安心を守っています。

どんな仕事をしているの？



警察通信

整備

事件、事故、災害に迅速かつ的確に対応できるように、耐災害性、機能性、利便性、コスト等を踏まえつつ、先端技術を導入した警察独自のシステムの開発・整備を行っています。



警察通信

保全

警察の通信機器・通信施設が常に万全の機能を発揮できるように、平素から点検、調整、監視を行うほか、機器等の障害発生時においても、警察活動に必要な通信を確保するため、応急的な対応やそれらに必要な計画策定を行います。



警察通信

機動警察通信隊

地震、台風、大雨等の災害が発生した際には、無線中継所へ燃料を搬送するなどして機能維持に当たるほか、救出救助等を行う警察部隊と共に現場に出勤し、現場映像の撮影・伝送や通信手段の確保といった活動を行います。

サイバー・情報技術解析

デジタル・フォレンジック



様々な犯罪にスマートフォンやウェブサービスが悪用されています。押収した多種多様な電子機器から、事件の真相解明の糸口となる情報を抽出して証拠化するための解析を行い、警察捜査の一翼を担う役割を果たしています。

サイバー・情報技術解析

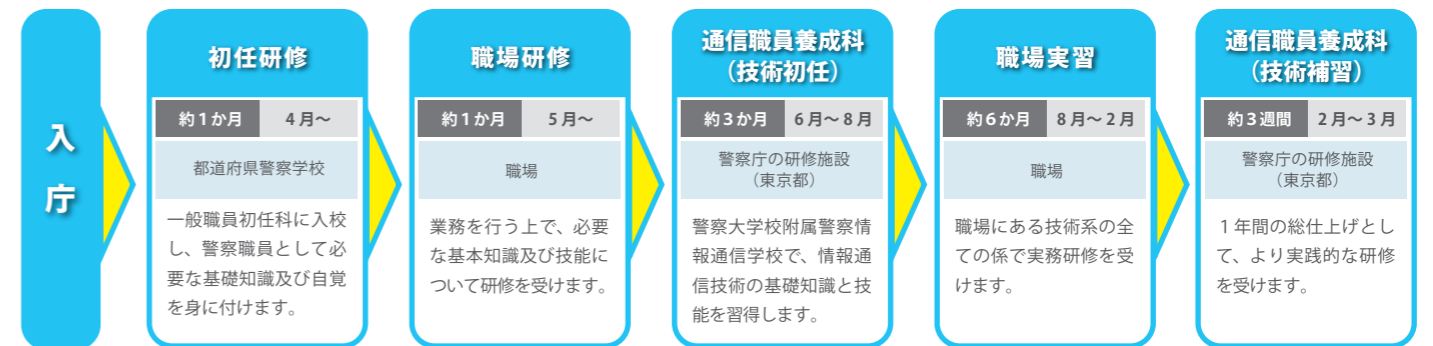
サイバー攻撃対策



サイバー空間の脅威は、深刻な情勢が続いています。サイバー攻撃の予兆・実態把握を行うとともに、標的となり得る重要インフラ事業者等に対する脅威情報の提供や助言、共同対処訓練を実施するなど、被害防止に取り組んでいます。

充実した研修制度 入庁1年目は全て研修期間！

警察庁では、情報通信に関する知識に自信がない方でも、採用後に業務に必要な知識を身に付けるための研修制度を整えています。



2年目以降も警察の研修はもちろん、部外の講習や研修など確実に成長できる研修制度があります。

先輩職員に聞いてみた！

警察を支える縁の下の力持ち

警察庁技術職員の魅力は？

「警察に情報通信の仕事があるなら、高校で学んだ知識が生かせるんじゃないか？」と思ったことがきっかけで警察庁に入りました。情報通信は警察活動に不可欠であり、私たち警察庁技術職員は警察を支える縁の下の力持ちのような存在です。

採用時研修の思い出は？

警察情報通信学校の研修では、全国の同期たちとともに、一から情報通信技術を学びます。同期たちと相談し合い理解を深めることができました。気軽に相談し合える仲間が全国にいることは、働いていく上で大きな支えになっています。

警察庁技術職員を考えている後輩へメッセージ

和気あいあいとしていて、楽しい職場です。私は無線や情報技術の専門知識がなかったのですが、現場で先輩から丁寧に実践的な指導を受けて、日々技術力を磨いています。警察活動を支える技術者として一緒に働いてみませんか。

仕事でうれしかったエピソードは？

大きな災害が発生しても、初任研修で学んできたことや経験を活かして対応した結果、警察無線を止めることなく運用を継続することができました。第一線の警察活動を支えて、国民の安全・安心を守っている実感が湧き、この仕事に就いて良かったと思いました。

若手職員の日 秋田県情報通信部 通信施設課の職員の日をご紹介します！



プライベートや休日の楽しみ方

地元の友達と遊んだり、家族と過ごしています。ドライブに行くことが多いので、ドライブついでに写真を撮影しています。昨年は、同僚とロードバイクでサイクリングに行きました。そのほかにもギターやベース、ピアノなどの楽器の演奏や釣りをしてリフレッシュしています。

現在の業務内容

通信機器や通信施設の整備を行っています。関係各機関等との調整結果を工事図面や仕様書に反映させ、工事計画を進めています。

警察庁を志望した理由

高校で習得した知識を生かせる警察庁技術職員として、国の治安を守る業務に携われる点に魅力を感じ志望しました。